



今回の整備工事では、文化財的価値を減じないよう、瓦葺き替えを中心に主に外部を補修しました。

(1) 屋根工事

棧瓦は全部葺き替えました。ただし、既存瓦は打音等検査により、できるだけ再使用に努めました。平瓦の寸法は長さ320mm、幅325mmであり、専用の瓦金型を製作しました。

小羽板は腐食部を中心に一部葺き替えました。杉赤身材手割り板、幅2寸以上、厚み1分、長さ8寸、葺き足2寸としました。竹釘止めを基本としましたが、既存の下地が乾燥して硬いのと長期の保持力を期待して一部ステンレスクリュー釘を併用しました。

(2) 煙突構造補強工事

煙突頂部から補強金挿入孔を穿孔し、ステンレス異径鋼D19L4,500を煙突1本につき8本を挿入し無収縮モルタルで定着させました。また、小屋裏内見え隠れ煙突部分は鋼板厚9mmを巻き補強しました。

(3) 外壁工事

外壁は洗浄し、吸水防止剤を塗布しました。

(4) その他工事

塗装での油性調合ペイントや硝子パテ打ち替え等、現状を大きく変更しないため、現在では使用頻度の少ないものを探して施工しました。



再使用瓦の洗浄状況



木羽板葺替状況



煙突構造補強工事

DATA

金沢市広坂地内
平成13年9月完成
煉瓦造：2F
延 1,068㎡